

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市久世老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

<p>【開所日及び開所時間】 月曜日～日曜日 8時30分～21時15分 (サービス提供時間 9時45分～20時15分) ※365日営業</p> <p>【利用定員】 指定通所介護事業（介護予防型デイサービス含む） 第一部9:45～17:00：50名 第二部(ナイトデイ)17:00～20:15：25名 指定認知症対応型通所介護事業（介護予防含む）9:45～17:00：12名 指定短時間型デイサービス 9:45～12:30：13名 指定短期集中運動型デイサービス 14:00～15:30：13名</p> <p>【事業実施区域】 京都市南区、下京区（八条通り以南）、伏見区（外環状線以北及び桂川西側）、西京区（府道142号線以南及び阪急京都線以東）</p> <p>【施設運営】 ○ 地域包括ケアシステムを構築するための基幹施設として、在宅高齢者に対して特養と同等のサービスを提供する「在宅特養」の進めてきました。この中で特養利用者への在宅復帰の取り組みを始めるとともに、在宅入所相互利用の利用者を増やすことにも力を入れ、特養入所待機者を少しでも減らし、施設ではなく住み慣れた地域で住み続けることが出来るよう支援できる体制を整えました。特にデイサービスは、訪問介護と並び在宅要介護者を支える重要なピースの一つとして、地域の高齢者を支えてきました。より一層、地域包括ケア実現に近づく事が出来たと考えています。 ○ 特別養護老人ホームとしてISO9001認証取得（品質マネジメントシステムに関する国際規格認証）を、令和5年度も更新審査を受けるとともに、久世ホーム全事業においてISO9001を取得しております。 ○ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止すべく、ビジネスチャットを活用し、会議やミーティングをwebやチャット上で行い、密になる状況を防ぐようにし、組織内の利用者情報の共有を滞りなく行えるようにしております。</p> <p>【建物管理】 ○ ビルメンテナンス専門業者に依頼し、建物の定期点検を実施するとともに、施設の経年劣化に伴う修繕にも力を入れ、美観を損なわないよう維持管理に努めています。 ○ 緊急時や非常災害時に、施設管理者や役職員に連絡、招集が取れる体制を整えています。また防犯対策として警察への非常通報装置や防犯カメラを設置してしており、不審者や暴漢への対策を行っています。</p> <p>【地域交流】 ○ 敷地の南側をドッグランとして整備し、月一回イベントを行い地域の方同士の交流として開催しているところに参加いただくことで地域の方との交流を持っていただけるように取り組んでいます。</p>

2 事業実施内容

<p>(1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター） 指定通所介護事業・指定認知症対応型通所介護事業・指定短時間型デイサービス・指定短期集中運動型デイサービス</p>
<p>(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）該当なし</p>
<p>自主事業の実施状況は、以下の通り。 該当なし</p>

3 サービス提供状況

【職員体制】 指定通所介護事業、指定認知症対応型通所介護事業、 短時間型デイサービス事業、短期集中運動型デイサービス事業 管理者1名 生活相談員兼介護職員7名 看護職員兼機能訓練指導員5名 介護職員15名 機能訓練指導員5名
再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務） ・ 厨房業務

4 市内中小企業への発注に対する考え方

地域の中の施設であるという考えのもと、地域との結びつきを強め、互いに協力できる体制をつくるため、地域の中小企業や個人商店が当施設との取引の中で永続的に発展できるようにしていきたいと考えている。
--

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 通所介護（総合事業含む）延べ利用者数（実績値）

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(2) 認知症対応型通所介護稼働率（実績値）

①令和5年度実績値 %

②令和6年度目標値 %

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	241,051,088
利用料収入	45,271,204
委託料収入	
補助金収入	7,063,657
寄付金収入	
雑収入	
その他	239,030
収入計	293,624,979

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	151,119,514
事業費	62,494,218
委託費	18,021,309
小額修繕費	5,676,288
その他	10,935,170
支出計	248,246,499

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

- 満足度調査の実施（利用者、家族）
- 利用者嗜好調査の実施（利用者）
- ご意見箱の設置

(2) 利用者満足度把握の結果

- 職員の言葉使いは丁寧ですか、90%の方が満足
- 職員の服装は清潔感がありますか、92%の方が満足
- 職員は安全運転をしていますか、72%の方が満足
- 送迎車での移動・機械の操作は安全に行えていますか、75%の方が満足
- 室内は清潔、かつ整理整頓をされていますか、74%の方が満足
- 室内の空間・温度調節は適切ですか、83.1%の方が満足
- トイレは清潔ですか、68%の方が満足
- トイレは安心して使用できますか、70%の方が満足
- 浴室の室温は適切ですか、61%の方が満足
- 浴室・脱衣所での介助は安全に行えていますか、60%の方が満足
- 食事の味付けは満足されていますか、59%の方が満足
- 食事の盛り付けは満足されていますか、65%の方が満足
- 食事は適切な温度で提供されていますか、57%の方が満足
- おやつを提供に満足されていますか、68%の方が満足
- レクリエーションは楽しいものが提供されていますか、61%の方が満足
- なごみ喫茶には満足されていますか、57%の方が満足
- リハビリの施行時間は満足されていますか、69%の方が満足
- 機能訓練の内容は十分に説明を受けられていますか、63%の方が満足
- 相談や不満など、安心して話せる職員はいますか、79%の方が満足
- 整容(爪切り、髭剃りなど)はきちんと出来ていますか、63%の方が満足
- 感染症対策には満足されていますか、75%の方が満足
- 利用料金に満足されていますか、79%の方が満足
- サービスを利用した全般的な満足度 84%の方が満足

(3) 意見等への主な対応状況

満足度調査、嗜好調査、サービス担当者会議や在宅復帰会議により、把握できたご意見、ご要望を職員で検討し、改善策、改善期間を調査結果として施設内に掲示。
「久世ホーム白書」として、パンフレットを作成し、利用者、事業所に配布している。

7 その他特記事項

(1)

- 学生・実習生、インターンシップの受入れ
昨年度に引き続き、感染症対策を十分行ったうえで受け入れ、社会福祉士の現場実習や保健師の現場実習を行いました。
 - インターンシップについては、1日体験として、福祉専攻の学生、専門外の勉強をしている学生問わず、積極的に受け入れを行っております。実際の現場を見てもらえることで、介護の仕事に対するイメージを良い意味で変えていただくことが出来ております。また受け入れる環境として、職員の学びにも繋がっています。
- ※ 受け入れに際しては、感染症対策を行い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の時期を外したうえで受け入れを行いました。また、特養での実習については中止しております。

(2)

新型コロナウイルス感染症の対策を講じ、密を避ける体制を取りつつ感染者数の動向を見ながら、できる事業を行ってまいりました。

併設している包括支援センターと協力し、担当圏域内の公共施設・公共の社会資源との連携事業として、①公園体操の実施（毎週）②認知症サポーター講座の開催③京都市南区地域介護予防推進センターと連携して開催している「はつらつ健康道場ウォーキング教室」④イオンモール京都桂川での「出張型地域包括支援センターおたっしや広場」という参加型相談会を実施しております。

また併設ドッグランでのイベントを地域包括支援センターと共同開催するなどし、ご利用者様にも楽しんでいただくことが出来ました。

8 評価（指定管理者自己評価）

デイサービス5事業で（通所介護50名定員・認知症型12名定員・短時間型13名定員・短期集中運動型13名定員・ナイトサービス定員25名）合計定員は113名にも及んでいるが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底的に行った上で、コロナ禍の中でも公の施設として一人でも多くの方にサービス提供できるよう、受け入れ調整を実施しました。ご利用者の感染者がでて、事業休止をする事態が発生しましたが、クラスターにはならず、感染症対策が効果を発揮できたと思っております。利用者サービスの向上、施設の安全性の確保を行うことにより、事業運営の安定化を図ることができたと考えております。

○ 久世ホームでは、久世地域での地域包括ケアシステムを構築するため、「在宅特養」という造語をつくり取り組んでいます。これは、これまで分けられていた施設・在宅サービスを有機的に組み合わせることで、ワンストップでサービスを展開し、施設や病院でしか生活できないと判断されていた方も、住み慣れた家（在宅）での生活に、“特別養護老人ホームと同様のサービス”という『安心』を加え、在宅生活を維持・継続できるサービスを提供できたと考えております。

○ 特別養護老人ホームとしてISO9001認証取得（品質マネジメントシステムに関する国際規格認証）の更新審査を受け、久世ホームで実施しているすべての事業においてISO9001の認証を取得しております。これにより、サービス提供を行うための業務プロセスの維持、改善を図ると共に指定管理施設としての信頼性、信用の向上をつなげたと考えております。

○ 毎月1回の研修会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら研修を行いました。サービスの向上のための研修や倫理、接遇、マナーの向上、障害者差別解消法に基づく不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての研修を実施いたしました。障害のある方々が、ない方々と同じように権利を使えるようにするためにはどのような合理的配慮が必要かを考え、差別的な行為とならないかどうかについて文書開催ではありますが、職員に注意喚起や理解を求めました。また実際に対応がうまくいかなかった職員については、その都度個別に話し合いを行っています。

○ 高齢者が情報を得やすくするために、久世ホームで実施している事業や取り組んでいるサービスを法人ホームページやInstagramなどのSNSでの情報発信を行うとともに、広報誌等の紙媒体での情報提供を行い、より幅広く情報発信に努めました。

尚、収支については、一人でも多くの方にご利用いただいた結果、安定した収入に繋がっております。本体施設の特養に支出案分の割合が多く乗る関係がありますので、施設全体として収支状況を見ていただけたらと思います。

今後、更に進んでいく高齢化に向け、指定管理者、地域福祉の拠点施設として地域包括ケア実現に向け努力して参ります。